

NAGANO ゴルフ協会だより

2010年10月

不順な天候はゴルフにとって一番厄介です。春先は寒さと雪、猛烈な暑さが続いた8、9月、10月下旬には寒冷前線が早めに南下しました。

こうした中で、協会主催事業は10月22日の市町村対抗大会をもって無事に終了しました。ご協力に感謝します。

8月以降の大会結果などをお知らせします。

(文中敬称略)

千葉国体、男子33位、女子は32位

県チームは選手9人のうち8人が国体経験者で期待された第65回国民体育大会。

千葉県成田市で9月21日から3日間の予定で開催されたが、最終日の23日は雷雨で中止となり、第1日の成績で順位が決まった。炎天下の初日を終え、コースに慣れた第2日は、バーディー発進の選手がいるなど、上位へ意気込んでスタートしたのに残念だった。

成年男子 成田ゴルフ倶楽部(7140 ヤード、パー72)が会場。宮島一馬(塩尻市=監督兼任)、田中孝幸(佐久市)、小山宏充(長野市)3人で、チーム合計スコアは229。昨年の41位から33位に順位を上げた。個人成績は田中、小山が84位タイの76、宮島は103位の77。団体優勝は地元千葉県207。

女子 会場は総成カントリー倶楽部(6311 ヤード、パー72)。選手は小出真鈴(長野西高1年)、伊藤萌衣(長野東高校2年)、浜上佳奈(佐久長聖高1年)の高校生トリオ。大分国体に引き続き内山敏監督のもと入賞を目指した。

チーム合計スコアは237、昨年の33位から1つ順位を上げる32位。個人では小出が78で85位(昨年は23位)、伊藤は79の96位、昨年は愛知県代表だった浜上は80の103位だった。団体優勝は福岡県212。

少年男子 北信越大会を2位で昨年に続き勝ち抜いた少年男子はスカイウェイカントリークラブ(6686 ヤード、パー72)が会場。斎藤和也(軽井沢高校2年)、荻原将太(蓼科高校2年)、初出場の宮川将(須坂墨坂中3年)の3人、監督に明科高校教諭の召田誠、支援コーチに檀原賢裕長野工業高教諭が当たった。出場は28チーム84人。

チーム合計237で昨年より2つ順位アップの26位タイ。個人は宮川が76の43位、斎藤は78の62位、荻原は83の80位。団体優勝は兵庫県216。

気温が31度を超す猛烈な暑さ。バッグを担いでプレーする少年男子の負担は重く、プレーを何とか終えた後、熱中症で数人が救急車で病院に搬送されるほど。長野県勢にとっても厳しい環境だった。

第46回市町村対抗は長野市が5年ぶり優勝

県内大会で一番歴史のある市町村対抗大会は10月22日、穂高カントリークラブで開いた。4支部予選(81チームが参加)を勝ち抜いた各10チーム、160人が参加した(7022ヤード、パー72)。

団体は長野市、諏訪市、塩尻市の3チームが4人合計307で並ぶ激戦。各チームの選手のべすとすこあを比べ、良いチームを上位とする規定により、長野市(井田勇太、小山宏充、大水博之、松山隆)が5年ぶり11回目の優勝を飾った。2位は諏訪市(茅野弘喜、藤森勇一、呉本生福、小池康成)、3連覇を狙った塩尻市(続木良博、宮島一馬、熊谷厚水、野沢文治)は悔しい3位になった。4位は上田市(堀徹、清水敦夫、村田稔、日置透)311、5位須坂市(伊藤雅章、唐沢謙一、広田文雄、黒岩護)311、6位池田町313、7位安曇野・三郷314、8位小諸市315、9位坂城町320、10位安曇野・豊科320の順。

個人は昨年同様3人が71で並んだ。年長者上位の規定によって、堀徹(上田市)が2度目の優勝、2位小林哲也(富士見町)、3位小林玄太(小諸市)の順位が決定。4位は山本和重(駒ヶ根市)、5位は井田勇太(長野市)とともに72。

日本マスターズ、女子は16位、男子30位

日本スポーツマスターズ2010三重大会は9月14、15日・四日市市で行い、男子は呉本公太(岡谷市)、松本勝治(箕輪町)、横田雅一(長野市)の3選手、女子は小林ゆたか(松本市)、丸山みち子(安曇野市)、上條滋子(松本市)の顔ぶれ。

男子は四日市カントリー倶楽部(6640ヤード、パー72)で行い、団体は上位2人の合計スコア312で30位。個人戦で呉本が152、33位と気を吐いたが、松本は体調を崩し165で117位、横田は171で131位と不調だった。優勝は京都290。

昨年まで2大会連続で5位の好成績だった女子は名四カントリークラブ(6090ヤード、パー72)が会場。団体は162で16位。個人戦は小林が161の20位と健闘、丸山は167の51位、上條は179で105位だった。優勝は地元三重301。

猛暑の影響で荒れたグリーンにてこずったという。

ねんりんピックは14位

石川県片山津ゴルフ倶楽部で10月11日開いた、ねんりんピック石川2010ゴルフ交流大会には、シニア市町村大会優勝の塩尻市チームから宮島秀光、小倉康男、吉江利夫の3選手が参加した。

全都道府県に政令指定都市を加えた67チームが参加、年代別、新ペリアで競い、団体戦は221で14位。団体優勝は栃木県。

60-64歳の部で小倉が27位、65-69歳の部で宮島が9位、70歳以上の部で吉江が30位となった。

県アマは小林が好記録で初優勝

第 43 回県アマチュア選手権大会は 8 月 26、27 日、穂高カントリークラブ(7022 ヤード、パー72)に 150 人が参加して行い、初出場の小林浩之(諏訪市)が 2 日間ともアンダーパーで回り、135 の好スコアで 2 位以下に大差をつけて初優勝した。

第 1 日は、小林が 6 バーディー、1 ボギーの 67、アマチュアのコースレコードで 2 位の掛川隆司(小諸市)に 5 打差をつけた。

第 2 日も小林が独走、バーディー、イーグルと続く好スタートで 1 イーグル、4 バーディー、2 ボギーの 68 にまとめ、2 日間合計 135。ぶっちぎりのスコア。2 位は前日 73 で 3 位だった一之瀬方賛(上田市)がこの日も安定した同じスコアで 146、3 位には広田文雄(須坂市)がこの日 69 で回り、147 で前日の 36 位タイから躍り出た。広田は 07 年に優勝、以降 3 年連続の 3 位で実力を示した。

4 位タイに木原健滋(坂城町)、堀徹(上田市)、田中孝幸(佐久市)、伊藤啓二(池田町)の 4 人が 149 で並んだ。8 位タイは前回優勝の土屋寿夫(軽井沢町)と藤森勇一(諏訪市)、片瀬博幸(池田町)が 150。

来年の関東アマチュア選手権では優勝の小林がブロック大会シード、9 位までの選手に予選シード権を与えられる。

第 28 回全国都道府県対抗は 23 位

県アマの上位の小林、広田、木原の 3 人が出場した第 28 回全国都道府県対抗選手権大会は 10 月 26、27 日に神奈川県のレイクウッド G C (6690 ヤード、パー71)で開催。3 人の合計スコアで競う団体戦は 479 で昨年の 38 位から 23 位に順位を上げた。

個人戦は木原が 155 で 37 位タイ、小林は 156 で 44 位タイ、広田は 168 で 122 位タイだった。

女子アマ プレーオフで山田がうれしい初優勝

第 27 回女子アマチュア選手権は 10 月 14 日、大浅間ゴルフクラブの 6107 ヤード、パー72 のコースで行い、90 人が出場した。優勝争いは 3 大会連続のプレーオフとなり、山田綾子(松本市)が初優勝を飾った。

プレーオフは 78 で並んだ山田と別府砂織(山ノ内町)の争い。1 ホール目、山田が 2 オンしてパーにまとめたのに対し、別府は第 1 打をまげて林の中へ、結局ボギーとなり決着した。

山田は前回大会、3 人のプレーオフで争い、2 ホール目でバンカー脱出に失敗し、涙を呑んだだけに、うれしい栄冠だ。

3 位タイは 79 の松下美由紀(飯田市)と前回優勝の青沼美寿紀(上田市)、前日も 3 位の小林ゆたか(松本市)。6 位にこの日ホールインワンを記録した山下かつみ(茅野市) 80、7 位タイに 82 の宮島ひろ子(長野市)、西澤真由美(長野市)、竹村世利翔(茅野市)の 3 人、10 位タイに 83 の高田真希、泉谷寛子の茅野市の 2 人が入賞した。

シニア選手権 **男子・呉本、女子・金根ともに初優勝**

男子 60 歳以上、女子 50 歳以上が競う第 15 回シニア選手権は、9 月 17 日に塩嶺カントリークラブで行った。

男子は 129 人、女子は 42 人が参加。男子(6543 ヤード、パー72)は呉本公太(岡谷市)が 4 バーディー、1 ボギー、1 ダブルボギーとただ 1 人アンダーパーの 71 で初優勝した。2 位はパープレーの宮島秀光(塩尻市)、3 位は 74 の小池由教(伊那市)、林芳則(坂城町)、輿水富男(岡谷市)、佐藤富士夫(東御市)の 4 人。7 位タイに 75 の藤沢薫(松本市)と中山敏夫(上田市)。9 位タイは 76 の滝沢孝行(千曲市)、渡辺東季男(坂城町)、武田俊二(朝日村)、前回優勝の藤巻勲夫(軽井沢町)の 4 人が並んだ。

女子(5880 ヤード、パー72)は、金根道子(東御市)が 3 パットの無い、堅実なプレーでアウトインとも 39 にまとめ、やはり初の優勝。2 位は 79 の広辺千尋(飯山市)、3 位タイに 82 の金谷美恵子(松本市)、加藤きよ子(長野市)、前回優勝の丸山みち子(安曇野市)、森山亮子(佐久市)の 4 人。7 位タイは遠藤芳江(軽井沢町)、宮島ひろ子(長野市)、上條春海(木曽町)、山下かつみ(茅野市)の 4 人が 84 で入賞した。

ジュニア育成

協会のジュニア育成事業は 3 月に上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部で第 1 回研修会がスタート。5 月、諏訪湖カントリークラブでのプロを招いてのジュニア教室・スナッグ体験会、8 月に夏季ゴルフスクールなどを行った。県内の J G A ジュニア会員は 355 人(8 月現在)、関心が高まり、参加者が増えている。

地域ごとの取り組みも活発になった。長野市ゴルフスポーツ少年団は 56 人が登録、信濃ゴルフ倶楽部を中心にレッスンを続けている。上田市ゴルフスポーツ少年団は 43 人のメンバーが月 2 回、土曜日に練習場で指導を受けている。

中信地区のジュニア育成委員会は松本市スポーツ少年団を発足させ、練習場などで指導、辰野町ゴルフ協会、駒ヶ根市ゴルフ協会もマナーやルールを学ぶことから始め基本練習、ラウンドなど子供たちがゴルフに親しむ環境を整えている。

ジュニア大会は、第 12 回県選手権、第 3 回アマチュア選手会主催大会、須坂 J C カップに加え佐久市でも新たに開催され 4 大会となった。

女子強化研修会

3 年目を迎えた女子強化研修会登録メンバーは 114 人(9 月末現在)。3 回実施した研修会には毎回 50 人以上が参加した。

ゴルフ場の協力を得てのラウンドが中心で、K G A 競技委員によるルール解説を聞いたり、年間ポイント方式で表彰するなど魅力ある研修会を目指して自主的に取り組んでいる。

以上